

都市生活
ヘルパーステーション



季刊紙 2012年・春号(4月25日発行)

指定訪問介護事業所
あ・し・す・と(垂水)

〒655-0861
神戸市垂水区下畑町
烏ヶ蔵山1815-31
電話:078-755-1455
FAX:078-755-1456

指定訪問介護/居宅介護支援事業所
あしすと武庫之荘

〒661-0031
尼崎市武庫之荘本町1-18-27
松茂文化1階13号
tel:06-6433-8487
fax:06-6433-8490

都市生活ヘルパーステーション「あしすと」は、生活クラブ都市生活がともに福祉活動をすすめている都市生活コミュニティセンターの介護保険事業です。現在、2事業所60人のメンバーで楽しく活動しています。介護保険に関することは何なりとご相談下さい。

あしすとのなりたち 組合員が育てた地域福祉事業です

介護保険事業「あ・し・す・と」「あしすと武庫之荘」が開所して丸11年、季刊紙を発行して、この号で9年になります。ヘルパーの入れ替わりも多く、大勢のヘルパーさんに出会ってきました。皆さまには季刊紙を通して楽しく活動している私たちの様子をお届けして参りました。



都市生活2級ヘルパー養成講座

ワーカーズ・コレクティブ「あ・し・す・と」「あしすと武庫之荘」は都市生活2級ヘルパー養成講座修了生(1999年~2008年)を中心に立ち上げた事業所です。全員で出資・会議・労働の3原則に沿って運営しています。

介護保険制度が始まってすぐの頃、ヘルパーという職業がどんなものなのか理解している人



あしすと武庫之荘結団式(2001年)

は少なかったと思います。「お手伝いさんとは何かしら違う、専門知識がある人」私たちが仕事を始める前に思っていた漠然としたヘルパー感です。私たちが仕事を始めて感じたこと、見た目の仕事内容は「お手伝いさんに似ているかもしれない」でも、それぞれ利用者様が生活していく上で、目的が有り、その目的意識をしっかり持ってそれぞれの目的へのお手伝いをしているのがヘルパーです。

「あしすと」では一人一人のヘルパーが利用者様の目的を意識してお仕事しています。「人が住み慣れた場所や住みたい場所で暮らしていけること」「その人が持てる力をしまいこむことなく少しでも出していけるよ

うにサポートすること」「自分自身が受けたいヘルプをすること」そんな思いをもって仕事と向きあい、利用者様との出会いを大切にしていけることを一番に考えています。

(介護保険事業統括:佐々木京子)



技量維持・向上のための研修も常に取り組んでいます

こんな私たちの 仲間を募集します。

都市生活のヘルパー養成講座がなくなってから、ヘルパーさんが少なくなりました。新しい人材を求めています。あなたの力を発揮しましょう!働き方を自分たちで考えられるなんて他事業所ではありません。考えながら働きましょう。資格がないなら取りましょう。資格を取るお手伝いします。養成講座料金援助します。詳しい問い合わせはこちらまでお願いします。

あ・し・す・と tel:078-755-1455
あしすと武庫之荘

tel:06-6433-8487

介護の悩みは
私たちにお任せください

都市生活には あしすとがあります



「あ・し・す・と」「あしすと武庫之荘」の事業エリア



○神戸市西区・北区は一部の地域のみ

4月より、都市生活ヘルパーステーションあしすと武庫之荘の管理者をさせていただきます橋本重美と申します。私は阪神・淡路大震災の前年に都市生活組合員となりました。支部委員活動では先輩の皆様のお力添えもあり、より都市生活に親しみ充実した時間を楽しむことが出来ました。

母の発病を機に、都市生活主催のヘルパー2級講座を受講、その後、あしすと武庫之荘のメンバーとなり10年を迎え、この間には、喜び悲しみ様々な場面を経験し、介護職として大きく成長させて頂きました。

今年の改正では、政府の方針が大きく転換されたと感じられ、事業所としてどう対応をするのか真価が問われると思います。それでも、今年こそ介護にかかわる者として、それぞれが持てる力を合わせ、あしすと発展のために全員で信頼される事業所を目指していきたいと思えます。健康と、確かな技術で、かかわらせて頂いた皆様に安心と、少しでも元気になってもらえるように支援していきたいと考えています。それと、もうひとつ、あしすと発展のためには、一人でも多くの仲間づくりが大切です。都市生活組合員のみならず、私たちと一緒に働きません

か。そして、今、介護でお悩みの方いらっしゃいませんか。都市生活にはヘルパーステーションがあり、ケアマネジャーがいます。私たちに、どうぞご相談ください。

どうぞ、よろしく願いいたします。

(あしすと武庫之荘
管理者 橋本重美)

経験を生かして 豊かな支援を

今年は管理者の交替(訪問介護)と介護保険制度の改正が重なり、あしすとは仕切り直して再出発の年となりました。これまでの9年間に130人余りの方の支援をさせて頂きました。ケアマネ1人から始めて、現在は6人で稼働できるようになっています。それぞれのケアマネが持てる力を発揮しながら、あっという間に年月が過ぎ去り、10年目に入ってしまったという思いです。多くの出会いと別れがありました。

これらの経験を生かしながら、これからも豊かな支援ができるように、気持ちを一新してまた歩き出したいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

(あしすと武庫之荘
[居宅支援] 管理者 落合久恵)

信頼・信用される 事業所を目指して

あしすと垂水の内橋と申します。在宅介護を主として、従事者共々、「利用者様のためにを」合言葉に、サービス向上に努めております。

慣れない職務で、疲労から体力、気力共に、脱落しかけた時に、先輩、家族、友人の叱咤激励があり、私は自分を取り戻す事が出来ました。

私の指導事項は、第一に、事故防止です。交通事故、介護中の転倒事故、トラブル等の防止です。家を出て、笑顔で帰宅するまでが、仕事である意味と、今以上にしあわせな家庭を築くには、事故を起さない事の重要性の指導です。事務所にとっても、社会的信用の損失は非常に大きいのです。

第二に、効率化の推進です。利用者様の理にならない無駄な時間の削減に現在取り組んでいます。敏速行動を指導しています。

第三に、チームワークです。報告、連絡、相談を指導しています。

新人管理者の私ですが、日々自己啓発を積み上げ、皆さんに信用、信頼される管理者と、事業所を目指します。

(あ・し・す・と管理者:内橋ゆかり)